



観海校



新地小HP

教育目標 : 考える子ども やさしい子ども たくましい子ども

「新地町少年の主張大会」開催！新地小の代表二人が堂々と発表

7月8日（火）、新地町文化交流センターにて「第29回 新地町少年の主張大会」が開催されました。新地小学校からは、5年生の斎藤 茜さんと6年生の川嶋 椋望さんが出場。二人とも大勢の観客を前に、原稿を見ずに堂々と自身の想いを言葉にのせ、聴いている人たちの心にしっかりと語りかけました。二人の勇気と努力、そして素晴らしい発表に、心から拍手を送ります！

夢に向かって

5年 斎藤 茜

みなさんは、目指している夢はありますか。その夢に向かってどのような努力をしていますか。

私は「医療に関わる仕事、特に薬剤師になりたい」という夢があります。

私は、「くるみ科ナッツ類」の食物アレルギーがあります。2歳8か月のころ、それが原因で緊急入院をしました。私は小さくて、よく覚えていないのですが、腹痛、発疹がひどく、顔面やまぶたなどが腫れ上がり、目も見えなくなりました。もし、気道まで腫れ上がってれば、呼吸困難や、ちっそくを引き起こす危険もあったそうです。その際、助けてくれたのが、病院の先生や看護師さん、そして薬剤師さんたちです。先生方の適切な処置のおかげで、深刻な事態に至ることなく退院することができたという話を母に聞いてから、私は病院に行くたびに、病院で働くスタッフの方々の姿が気になるようになりました。患者さんのために手際よくてきぱき働く姿をみて、あこがれるようになりました。そして、「医療に関わる仕事がしたい。私も自分のようにアレルギーのある人や病気で困っている人を守りたい。」と思うようになりました。

そのような思いが強くなる中で、「みやぎ県南中核病院」で「オープンホスピタル」という病院のお仕事体験などができるイベントがあることを知り、母に頼み参加することができました。このイベントで一番楽しみにしていたのは、薬剤師の体験コーナーです。病院で働く現役薬剤師の仕事を間近で見せていただき、仕事の内容も詳しく教えていただきました。そして、調剤体験といって、本物ではない薬を使って、じょう剤を朝昼晩と分けたり、液体の薬を調合したりする仕事を体験させていただきました。思っていた以上にたくさんの仕事があり、複雑で難しい仕事もありましたが、この体験を通して、私はよりいっそう、薬剤師になりたいという夢を強くもつようになりました。

夢を叶えることは、容易なことではありません。薬剤師になるには、大学へ行き、国家試験に合格する必要があります。薬剤師は、医師や看護師、患者からあらゆる薬品に関する質問を受けるので、薬剤についてかなりの知識が必要になります。また、ワクチンも医療品の一つです。私のように、アレルギーがある患者も多く、病気や感染対策、アレルギーについても専門的な知識が必要になるそうです。かなりの努力をしなければなりません。でも、薬剤師になりたい、という強い目標があれば、やりとげることができると思っています。

今、私は、夢を叶えるために、日々の学校での勉強や、漢字検定、英語検定などの検定試験に取り組んでいます。今の私には、薬剤師に



なるための勉強はまだできませんが、今の自分にできる学習や取り組みをこつこつと積み重ね、将来の夢に一步でも近づけるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。今、私は堂々と胸をはって言えます。夢に向かって進んでいるのだと。

新地町を生きる

6年 川嶋 栞望



みなさんは、将来どこで生活をしていきたいですか。遊ぶところがたくさんあるところ。商業施設が並ぶところ。子育てに関する施設が充実しているところなど、選ぶ基準はたくさんあります。

新地小学校の6年生は「ゲームセンターがないから」、「新地町には仕事がないから」という理由から、違う地域に住みたいと考える人が多かったです。

皆さんはどう考えますか。本当に仕事がないのでしょうか。

総合の学習で、新地町の職業について調べてみると、百以上の仕事があることが分かりました。

新地町には、私たちがあまり知らないだけでたくさんの仕事が存在します。そして、その職場にはすてきな仕事をしている方がたくさんいるのです。

そこで、私たちは実際に多くの職場に、見学に行きました。私たちが見学をお願いした施設・企業の方はどの方も私たちを快く迎え入れてくれました。ある企業では一緒に働く人たちを「仲間」と考え、相手が喜ぶ言葉かけの大切さを教えてくれました。別な企業では、次に使う人のことを考え、シワ一つないシーツの敷き方や、点検・掃除の大切さを教えてくれました。

私も「新地町役場」に見学、体験をしに行き新しい発見がたくさんありました。新地町役場にはたくさんの方が来ます。転出・転入の手続きや、証明書の発行。税金のことについて町民に説明したり、行事の企画などをしたり、十一個の課や局でその街で暮らす人のための仕事をしています。今使っている観海ホールも新地町役場で管理をしています。会場を準備することはどのくらい大変だと思いますか。天井を見てください。あそこにライトや幕があります。会に合わせて、それらを高くしたり、低くしたり細かな調節をしてちょうどいい高さにすることはとても大変な作業でした。また、天井近くの金網にのり、点検も行っています。かなりの高さがあり、高いところが苦手な人にとってはとても大変な作業でしたが、役場の方は使う人たちのことを考え、丁寧に点検をしてくれています。新地町の役場の方は、町のみなさんが楽しく、よりよく生活を送るために丁寧に管理をしてくれています。

新地町には「笑顔」「管理」「思いやり」ということを大切にしている企業がたくさんあります。これらのことを私たち小学生・中学生も生活の中で心がけていきませんか。「笑顔」で生活することで、自分はもちろん相手も楽しい気持ちになることができます。「管理」を心がけることで、身の回りが整理整頓されます。ゴミの分別や水の使用方法、メディアコントロールも徹底できるようになるでしょう。

「おもいやり」を大切にすることで、相手のことを大切にし、素敵な人間関係を作ることができるはずです。企業と私たちが互いに「笑顔」「管理」「おもいやり」を大切にすることで新地町はもっと素敵な町になって行くと思います。

私たちの住む新地町にはいろいろな仕事があり、どの企業でもみなさんのことを考え働いている方がたくさんいます。そんな新地町をみんなで素敵な町にし、将来住んでみてはどうでしょうか。

